

MIS036-P173

会場:コンベンションホール

時間:5月27日 14:15-16:15

北海道日高・十勝沿岸域における東日本大震災発生時の住民の避難行動 A study of evacuation activities of the residents in Hidaka and Tokachi Coast on the Great East Japan Earthquake-Tsunami

水木 千春^{1*}, 平川一臣¹, 渡辺 梯二¹
Chiharu Mizuki^{1*}, Kazuomi Hirakawa¹, Teiji Watanabe¹

¹ 北海道大学環境科学院

¹ Hokkaido University

3. 11 東北地方・太平洋沖津波は北海道太平洋沿岸にも到達し、大津波警報が発令されて住民は緊急避難を求められた。津波は日高から十勝の港湾内で 3-3.5m 程度であったが、人為的な地形改変および海岸護岸施工などに影響されて 6-9m の高さまで局所的に遡上した。これらの事実は、北海道の沿岸域は間一髪で広範な津波被害を免れたことを示している。

このような状況において北海道太平洋沿岸の住民はどのような避難行動をとったであろうか？住民への直接アンケート聞き取り調査（7自治体の8集落から259人）によって得られた当日の避難行動および避難意識について報告する。要点は以下の通りである。

1. 3. 11 津波の際に住民各自の避難行動を決めた理由、指針
避難した：大多数は大津波警報発令とテレビでの東北の津波実況映像視聴から判断
避難せず：多くは過去の十勝沖地震などの経験が基準
2. それぞれの行政指定の避難標識・避難経路・避難施設の適切性
大部分において不適切
3. 津波に対する集落（居住地）の地形的土地条件への住民の理解
ほとんど理解していない
4. 行政主導の津波ハザードマップの有効性と問題点
認知度がきわめて低い

キーワード: アンケート, 津波避難行動, 日高・十勝沿岸域

Keywords: Questionnaire, Evacuation Activities, Hidaka- Tokachi Coast